

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 12 巻第 40 号

第 40 週 (10月1日～10月7日)

発行年月日:平成24年(2012年)10月15日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

◆RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎は急増

★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第40週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---**結核 1名**
- ・三類感染症---報告はありません
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---**梅毒 1名**(病型:無症状病原体保有者)

★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(226名)と横ばいで、今週も226名となっています。今週、増加した疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎等で、特にRSウイルス感染症およびマイコプラズマ肺炎は先週の約2倍増となっています。マイコプラズマ肺炎の発生状況については、(3)今週の発生状況に示すとおりです。減少した疾患は感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

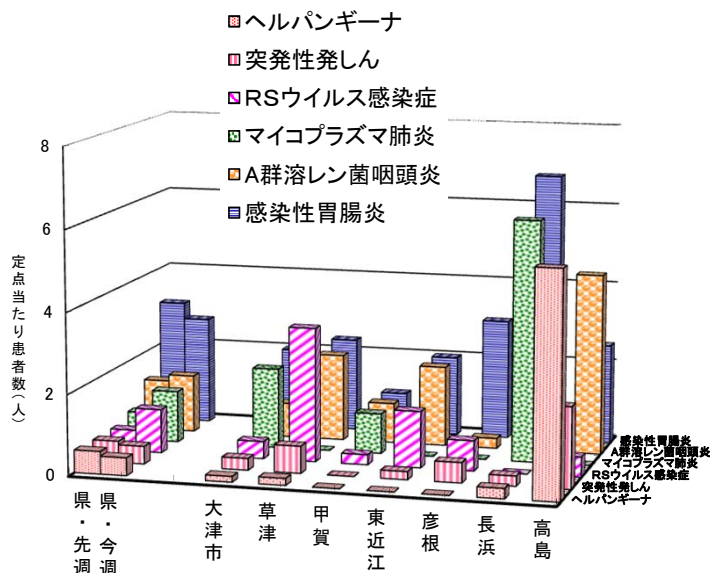
また、インフルエンザ入院サーベイランスにおける、インフルエンザの入院患者の届出はありませんでした。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は下記のとおりです。

警 報-----ヘルパンギーナ (警報開始基準値 6.00、警報終息基準値 2.00) 高島保健所管内



上位疾患の保健所管内別発生状況(第40週)



県全体における上位疾患の発生状況は、①感染性胃腸炎、②A群溶レン菌咽頭炎、③マイコプラズマ肺炎、④RSウイルス感染症、⑤突発性発しん、ヘルパンギーナの順に多くなっています。

感染性胃腸炎-----県全体では先週より減少していますが、長浜では先週の2倍増となっています。

A群溶レン菌咽頭炎---草津、東近江および高島からの報告が多くなっています。

マイコプラズマ肺炎---長浜からの報告が多くなっています。

RSウイルス感染症 ---県全体では先週の倍増となっています。特に、草津では3倍増となっています。

ヘルパンギーナ -----高島では先週より減少していますが、警報終息基準値を超えた状態が続いています。

1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といい、滋賀県内で発生している一～四類および五類感染症の発生状況を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成24年 累積報告数		平成23年 累積報告数 ^(※1)		平成22年 累積報告数 ^(※2)	
		滋賀 (40週)	全 国 ^(※3) (40 週 ^注)	滋 賀	全 国 ^(※3)	滋 賀	全 国 ^(※3)
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	208	22,227	338	31,467	251	26,866
三 類 感 染 症	コレラ	0	3	0	12	0	11
	細菌性赤痢	0	171	5	299	2	235
	腸管出血性大腸菌感染症	35	3,125	71	3,938	66	4,134
	パラチフス	0	17	0	23	1	21
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	93	0	61	0	66
	A型肝炎	1	131	0	176	3	347
	オウム病	0	6	0	13	1	11
	つつが虫病	1	198	1	461	2	407
	デング熱	1	170	1	104	2	244
	マラリア	2	60	0	78	0	73
	レジオネラ症	8	640	12	819	10	751
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	11	673	2	814	7	843
	ウイルス性肝炎	2	169	1	249	3	221
	急性脳炎	3	293	1	259	0	242
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	137	2	136	2	172
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	190	2	198	3	122
	後天性免疫不全症候群	7	1,055	6	1,523	1	1,553
	ジアルジア症	1	51	1	68	1	77
	梅毒	2	660	6	827	9	621
	破傷風	0	87	1	114	0	106
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	72	0	73	2	120
	風しん	12	1,790	2	374	5	87
	麻しん	1	268	1	443	1	447
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	0	1	9	37	0	59

※1: 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月現在)。

※2: 感染症発生動向調査事業年報確定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月)。

※3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症の発生状況を示します。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。
(患者報告数 = 定点当たり患者数 × 定点数)

(1) 疾病別・週別発生状況(平成24年第35週～40週、8/27～10/7)

定点区分	定点 数	疾 患 名	定点当たり患者数 (↑ 前週より増加 → 前週と同じ ↓ 前週より減少)										
			35週	36週	37週	38週	39週	40週	週				
			8/27 ~	9/3 ~	9/10 ~	9/17 ~	9/24 ~	10/1 ~	36	37	38	39	40
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.04	0	0.04	0.02	0.02	0.08	↓	↑	↓	→	↑
小児科	32	RSウイルス感染症	0.09	0.31	0.38	0.44	0.53	1.09	↑	↑	↑	↑	↑
		咽頭結膜熱 (プール熱)	0.13	0.69	0.59	0.13	0.22	0	↑	↓	↓	↑	↓
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.94	0.56	1.19	0.78	1.28	1.44	↓	↑	↓	↑	↑
		感染性胃腸炎	2.72	2.63	2.81	2.72	3.09	2.69	↓	↑	↓	↑	↓
		水痘	0.41	0.47	0.38	0.28	0.25	0.28	↑	↓	↓	↓	↑
		手足口病	0.41	0.16	0.34	0.31	0.19	0.19	↓	↑	↓	↓	→
		伝染性紅斑 (リンゴ病)	0	0	0.09	0	0	0	→	↑	↓	→	→
		突発性発しん	0.53	0.69	0.69	0.47	0.53	0.44	↑	→	↓	↑	↓
		百日咳	0.06	0.06	0.06	0.03	0	0	→	→	↓	↓	→
		ヘルパンギーナ	0.59	1.25	0.78	0.38	0.56	0.44	↑	↓	↓	↑	↓
眼科	8	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0.13	0.16	0.25	0.13	0.13	0.03	↑	↑	↓	→	↓
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
眼科	8	流行性角結膜炎	0.25	0.25	0.38	0.63	0.25	0.25	→	↑	↑	↓	→
		細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
基幹	7	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		マイコプラズマ肺炎	0.71	0.57	0.43	0.86	0.71	1.29	↓	↓	↑	↓	↑
		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0.14	0.14	0	→	→	↑	→	↓
		インフルエンザ (入院) *	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→

※: 平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第40週、10/1～10/7)

疾 患 名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)		
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
インフルエンザ	0.08	0.09	0.20	0.14	0	0	0	0			
RSウイルス感染症	1.09	0.43	3.33	0.25	1.40	0.75	0	0.50			
咽頭結膜熱(プール熱)	0	0	0	0	0	0	0	0			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.44	0.86	2.17	1.00	2.00	0.25	0.75	4.50			
感染性胃腸炎	2.69	2.00	2.33	1.00	2.00	3.00	6.75	2.50			
水痘	0.28	0	0.33	0	1.00	0	0.25	0.50			
手足口病	0.19	0.29	0	0	0	0	0.25	1.50			
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0			
突発性発しん	0.44	0.29	0.67	0	0.20	0.50	0.25	2.00			
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0			
ヘルパンギーナ	0.44	0.14	0.17	0	0	0	0.25	5.50			
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0			
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性角結膜炎	0.25	0	0	0	1.00	1.00	0	0			
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
マイコプラズマ肺炎	1.29	2.00	0	1.00	0	0	6.00	0			
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
インフルエンザ(入院)	0	0	0	0	0	0	0	0			

赤・太字

青緑・太字

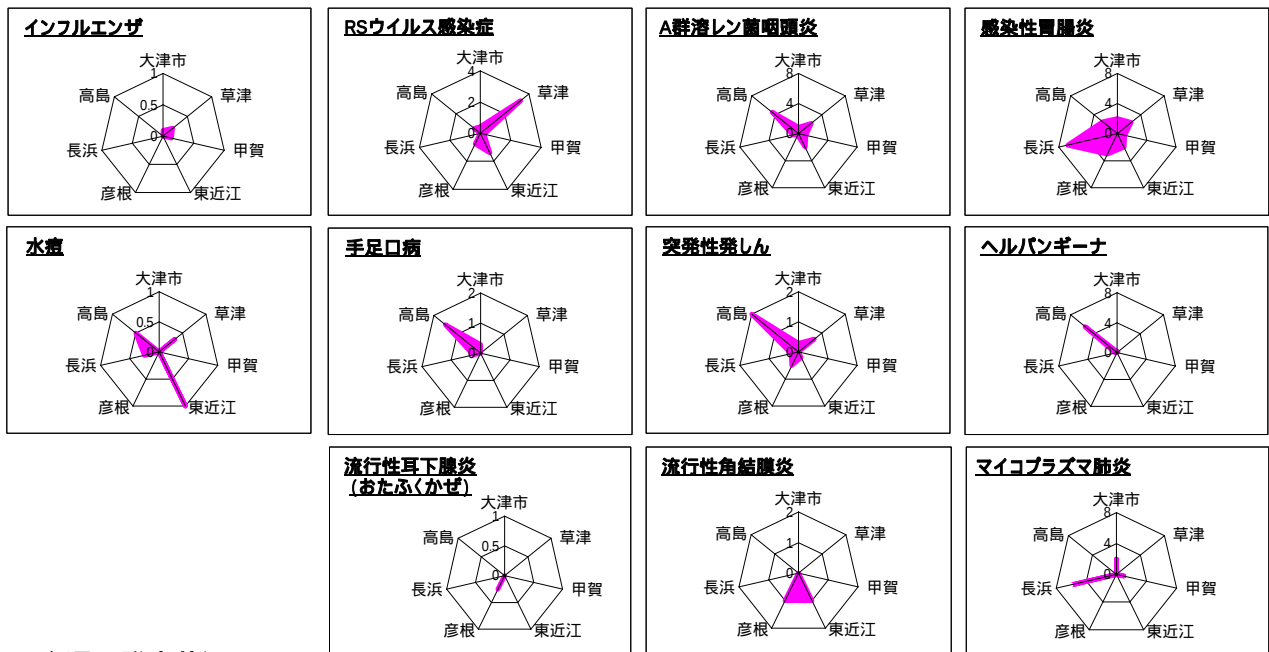
は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。

は注意報発生基準値を超えています。

01234

定点当たり患者数(人)

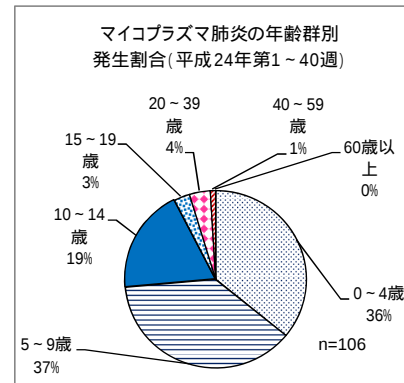
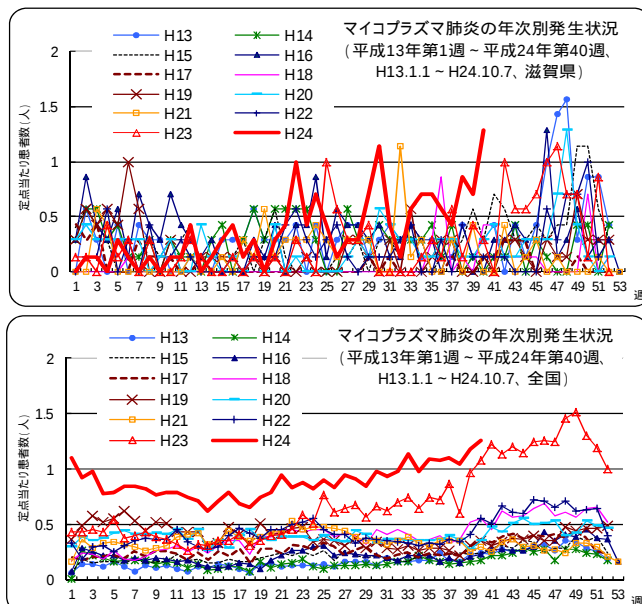
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

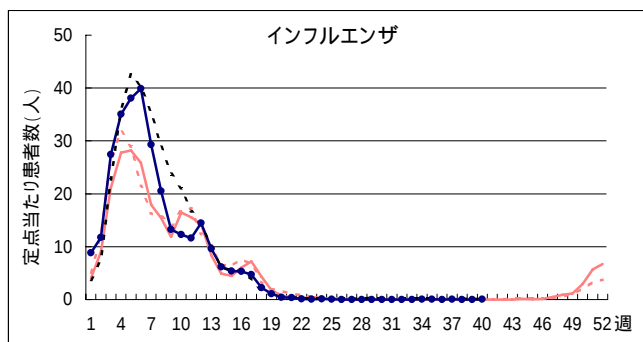
マイコプラズマ肺炎の発生状況(平成24年第1～40週、H24.1.2～H24.10.7)

[トップページに戻る](#)

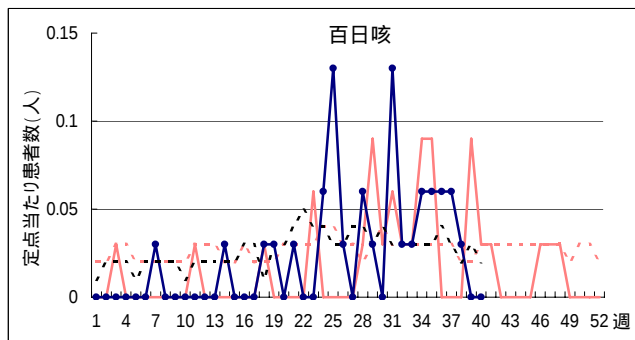
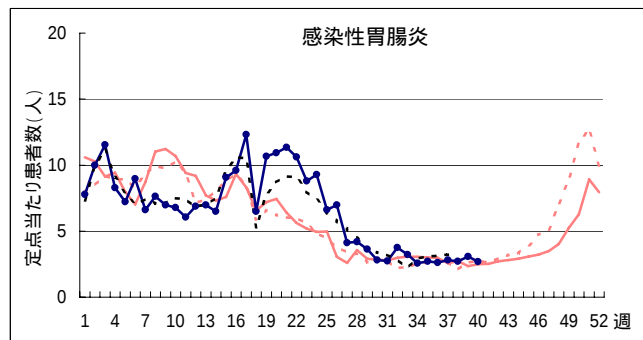
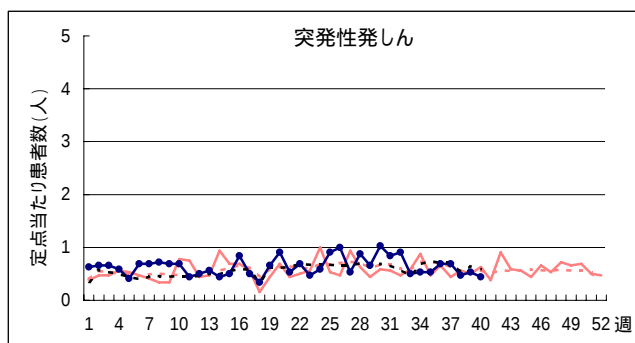
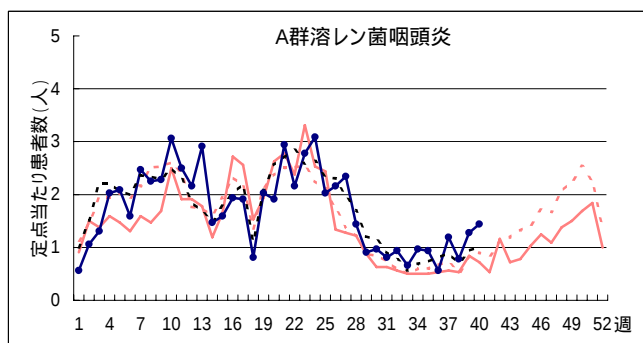
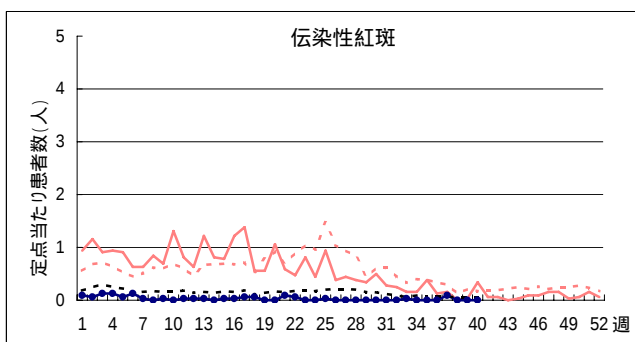
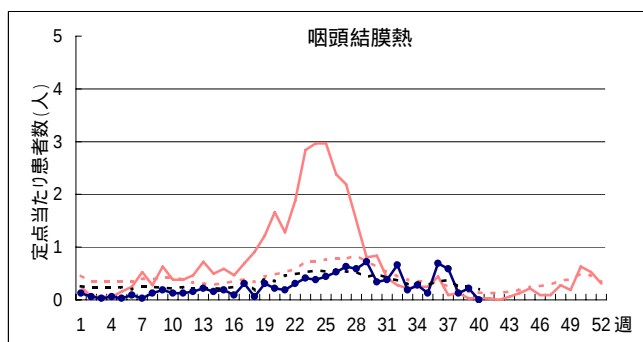
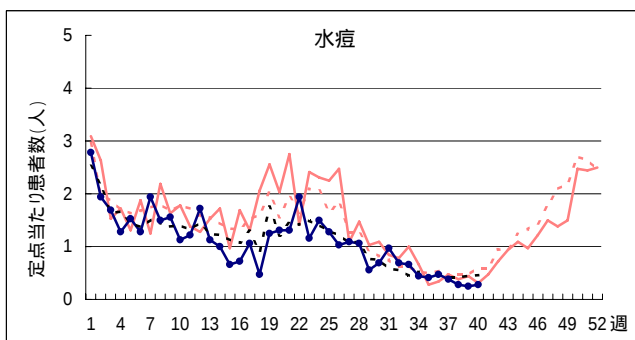
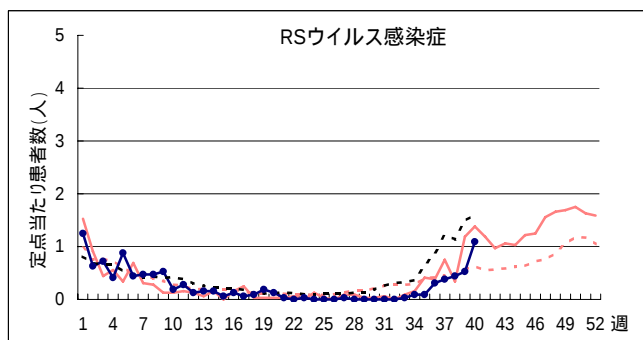


マイコプラズマ肺炎の年次別発生状況は、左記グラフに示すとおりです。
滋賀県における年齢群別発生割合は上記グラフに示すとおりで、0～4歳および5～9歳で多くなり全体の73%を占めています。
また、保健所管内別では、大津市、東近江および長浜からの報告が多くなっています。

疾病別定点当たり患者数(平成24年第40週、H24.1.2～H24.10.7)



H23 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)
H24 { 滋賀 (solid blue line)
全国 (dotted blue line)



疾病別定点当たり患者数 (平成24年第40週、H24.1.2～H24.10.7)

H23 〔 滋賀 全国 〕 H24 〔 滋賀 全国 〕

